

令和7年度さいたま市立中学校等国際交流事業説明会

日 時 令和7年7月18日（金曜日）14時30分から17時30分

会 場 さいたま市立教育研究所

参加者 派遣生徒及び保護者

【説明概要】

1 代替措置検討に至った経緯

- 4月11日 現地手配会社と契約を締結した。契約後、現地手配会社に対して、受入校やホームステイ先の決定に必要な情報の連絡・確認を行った。
- 6月7日 海外派遣団結団式及び事前研修会を開催した。
- 6月24日 現地手配会社から「社長が病気で倒れた。しかし、さいたま市のプログラムはしっかり対応していきたい。」と連絡があった。それを受け、教育委員会は現地手配会社とホームステイ先以外の宿泊場所や現地の移動手段の確認など、実施に向けた手続きを継続した。
- 7月3日 現地手配会社から「受入校とホームステイ先の確保が難しい」と連絡を受けた。教育委員会は現地手配会社に対して、あらゆる手を尽くして受入校とホームステイ先を探すよう強く要請した。同時に、教育委員会独自に現地の関係者と連絡を取って受入校確保に向けた依頼や、国内の旅行会社を通して別の現地手配会社を検討するとともに、研修内容を見直すことで、7月30日から10日間のニュージーランドへの派遣について模索した。しかし、長期間親元を離れて生活する生徒の安全確保を第一に考えると、いずれの手立ても具体的な形にするには至らなかった。
- 7月9日 現地手配会社から契約解除の文書を正式に受領した。
- 7月10日 7月30日からの派遣を断念することを教育委員会が決定した。
- 7月11日 学校を通じて派遣生徒・保護者へ説明会の開催を通知した。

2 今後の対応

(1) 派遣費用の返金

全額を速やかに返金できるよう手続きを進めている。返金時期は、8月上旬、遅くともお盆前を目途としている。

(2) 代替措置の検討

本事業の目的を達成するとともに、派遣期間中、親元を離れて生活する生徒の安全確保を第一に考え、様々な代替措置を検討している。世界的に感染症が流行した平成21年度には、当初予定していた8月の実施を急遽取りやめて、3月の卒業式後に実施し、多くの生徒が参加したという実績があることも参考に検討する。

(3) アンケートの実施

代替措置の検討にあたり、派遣生徒の一人ひとりの思いや願いに向き合うことができるよう、生徒アンケートを実施する。

【質疑応答の主な内容】

質問 現地手配会社は、受入校が確保できてから契約を締結するべきではないのか。また、20年以上続いている事業だが、特定の受入校と交流しているわけではないのか。

回答 例年、現地手配会社は、契約後に受入校の確保に動き出していた。令和元年度までは、同一の受入校だったが、令和5年度に学校の統合により、令和5年度と令和6年度は、その都度受入

校を探す状況だった。

質問 7月3日に現地手配会社から連絡があった時点で、何人分のホームステイ先が確保されていたのか。
回答 ホームステイ先は受入校が決まってから、生徒が安心して生活できる環境にあるか確認をして決定する。受入校が決まっていなかったため、ホームステイ先も決まっていなかった。

質問 本事業に参加するにあたり、すでにパスポートの取得に伴う費用などが発生している。これらの補填は行われるのか。

回答 大変申し訳ないが、パスポートの取得やスーツケースの購入等にかかった費用の補填は難しい。

質問 代替措置を実施するにあたり、保護者負担が増える可能性はあるか。

回答 この度、航空券のキャンセル料の支払いが発生したが、その費用は市が別途負担することを予定しており、補助金は全額確保しているため、保護者負担は増えないと考えている。

質問 現時点で、代替措置の検討は、どこまですすんでいるのか。

回答 生徒の安全確保を最優先に考え、外国での語学研修や異なる文化に触れる体験ができるよう、実施場所、実施時期、実施方法等、あらゆる可能性を検討しているところである。

質問 生徒アンケートにより、代替措置が決まるのか。また、生徒アンケートの結果は知らせてもらえるのか。

回答 生徒アンケートは、生徒の思いを知るために実施しており、アンケートの結果も参考にして代替措置を検討する。アンケート結果については、生徒や保護者に伝える予定である。

質問 平成21年度は、いつ代替措置が決定し、いつ代替措置を実施したのか。

回答 平成21年11月に決定し、平成22年3月21日から27日までの7日間で実施した。

質問 現地手配会社に対して、契約不履行に伴う損害賠償請求を行う予定はあるか。

回答 契約書に基づき、対応方法を検討している。

質問 今回のことは市の失態である。このような事態になる前に回避できなかったのか。

回答 現地手配会社を信頼して、早期にリスク回避を検討できなかったことを深く反省している。

意見 代替措置の決定まで、不安な日々が続く。代替措置の検討状況について、定期的に連絡してもらいたい。

回答 少しでも不安が解消するよう、メールで継続的に進捗を連絡する。

意見 周囲に説明するため、本日の説明内容を文書でもらいたい。

回答 市ホームページに掲載し、広く周知する。

意見 本事業に参加した事実は、高等学校入学者選抜における調査書に反映されるものと認識しているが、今回は派遣がない。不利益が生じないよう、配慮を求める。

回答 生徒は、各中学校において、選考を経て決定された学校代表である。校長に対して、共通の文言で調査書に記載するよう依頼する。

意見 何より生徒の気持ちを第一に考えるべきである。生徒は、この夏の派遣が無くなったことで大変傷ついているにもかかわらず、事情を知らない友達に対して本人が説明しなければならず、非常に辛い状況である。

回答 各中学校と連携して、生徒が安心して学校生活を送れるよう配慮に努める。